

## 国内第3のプラットフォーム向けITサービス市場予測を発表

Japan, 2020年5月18日 - IT専門調査会社 IDC Japan 株式会社 (所在地: 東京都千代田区九段北1-13-5、代表取締役社長: 竹内正人、Tel代表: 03-3556-4760) は、国内第3のプラットフォーム向けITサービス市場予測を発表しました。

国内第3のプラットフォーム向けITサービス市場は、クラウド向け、ビジネスアナリティクス (BA) 向け、エンタープライズモビリティ向け、ソーシャルビジネス向けの4分野について、各分野 (分野間の重複を含む) の単純積み上げの総額で、2019年に1兆7,855億円に達したとみられます。本市場予測は、2020年3月末時点における新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響および見通しを考慮したものです。

2019年の国内第3のプラットフォーム向けITサービス市場は、4つの主要技術分野全てで2桁の高成長を遂げました。2020年はいずれの分野においても新型コロナウイルス感染症 (以下、COVID-19) による影響を受け、前年比成長率が低下しますが、それでも2桁の成長率を維持し、2021年以降もデジタルトランスフォーメーション (DX) に関わる需要に牽引され、高成長を継続していくとIDCでは予測しています。同市場は2019年~2024年の年間平均成長率 (CAGR: Compound Annual Growth Rate) 26.1%で、2024年には5兆6,819億円に達すると予測します。ただし、予測期間の後半になるほど、4分野間における重複領域は拡大するため、実際の市場規模はこれよりも小さくなることに注意が必要です。

4分野の内、最大市場である、国内クラウド向けITサービス市場は2019年の支出額が前年比34.3%増の9,392億円でした。既存システムのクラウド移行や、マルチクラウドを含む統合的なマネージドクラウドサービスなどが成長を牽引しました。COVID-19の影響による企業のビジネスモデルや従業員の働き方の変化は、2021年以降のクラウド向けITサービス市場拡大の促進要因となります。同市場は2019年~2024年のCAGR 33.0%と、高い成長率を維持し、2024年には3兆9,145億円に達するとIDCでは予測します。

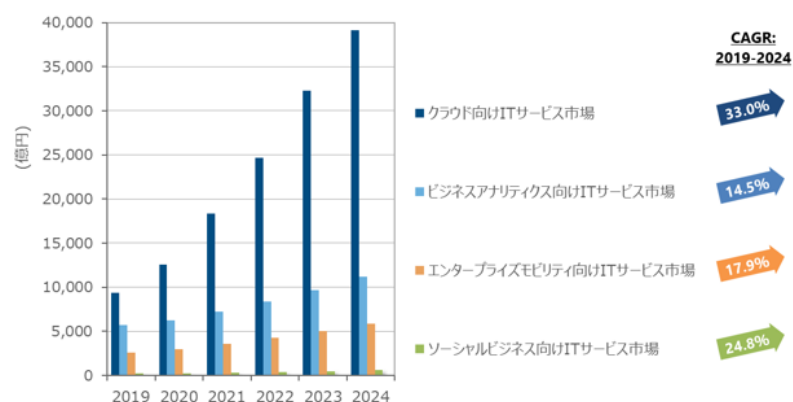
IDC Japan ITサービス グループマネージャーの植村 卓弥 は「COVID-19は、2021年以降における国内ITサービス市場における、第2のプラットフォーム向けから第3のプラットフォーム向けへの移行を、より加速させる効果をもたらすであろう。ITサービスベンダーはこれまで以上に迅速に、新たなサービスへの適応を進める必要がある」と述べています。

今回の発表はIDCが発行した国内第3のプラットフォーム向けITサービス市場予測、2020年～2024年にその詳細が報告されています。本調査レポートは第3のプラットフォーム向けITサービス市場の2019年の実績と、2020年～2024年の市場予測を4つの主要技術分野別（クラウド向け、ビジネスアナリティクス（BA）向け、エンタープライズモビリティ向け、ソーシャルビジネス向け）にまとめたものです。

#### <参考資料>

国内第3のプラットフォーム向けITサービス市場支出額、2019年～2024年

Figure 1



Notes :

- 本市場予測は、2020年3月末時点における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響および見通しを考慮したものである
- 第3のプラットフォーム向けITサービスの4分野には、相互に重複する領域があるため、単純積み上げの総額は同市場の実際の総額とはならない

Source: IDC Japan, 5/2020

IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. Additional information can be found at [www.idc.com](http://www.idc.com). All product and company names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

For more information contact:

jp-Press Japan  
jp-press@idcjapan.co.jp  
+81-3-3556-4768